



東明

□令和2年12月25日発行

□男鹿市立男鹿東中学校

男鹿市船越字根木169番地

～ 夢を求め続ける勇気が全ての原動力 ～

校長 木村 守人

後期前半終了の全校集会挨拶より（要旨）

師走を迎え、八郎湖に白鳥が舞い降りる時季となりました。12月14日には本格的な雪となり、秀峰寒風山は真っ白に雪化粧をしました。本校の校地や校舎も一面雪となりましたが、生徒会執行部員、学年委員をはじめ、生活委員や学校に貢献しようとする有志の皆さんの自発的な雪かき活動や挨拶運動などで全校生徒の心は温まり、自然に笑顔になりました。校長として心から感謝の意を表します。

10月14日からスタートした後期前半もあっという間に三か月が過ぎました。後期は、特に「知性を磨く」ことに力を入れて生活を組み立ててきました。東中生の学習に関わる資質や能力は限りないと感じています。ミッキーマウスの創業者であり、ディズニーワールドの創設者であるウォルト・ディズニー氏は、次のような名言を残しています。「夢を求め続ける勇気さえあれば、全ての夢は必ず実現できる。いつだって忘れないでほしい。全て一匹のねずみから始まったということ。」皆さんが、学年の「夢の木」に描いている夢や目標に向かって笑顔で挑戦しようとする勇気と、決して諦めない地道な努力こそが、夢や目標を具現するための原動力だと説いています。

さて、皆さんは11月初旬から12月初旬までの一か月間、後期の中間テストや3年生の実力テスト、県学習状況調査に向けて、一人一人が具体的な目標をもって、朝学習を継続したり、放課後に学習相談をしたりするなど、学校を挙げた団体戦と捉えて、共に知性を磨いてきました。全校生徒が丸となって学習に集中する姿は、誠に頼もしく感じます。心身ともに大きな成長を感じ取ることができました。「知性を磨く」の評価点は、高評価の90点としたいと思います。大いに自信をもって、後期後半の学習活動においても継続して努力してほしいと思います。

3年生は、新年明けてすぐ1月4日には実力テストがあり、6日から10日にかけては、いよいよ公立高等学院の前期選抜及び私立高校の推薦・前期入試が始まります。本校からは先陣をきって9名が受験します。学力試験のほかに、面接や実技の練習など懸命に取り組んでいる姿を目にします。全校生徒の模範となって努力をしていますので、必ずや合格を手にしてくれるものと期待しています。

2年生は、新執行部員を中心に、学校の顔となり、生徒総会や各委員会活動を活性化したり、新入生のために学校紹介ビデオを新たに制作したりするなど大きな成果を収めました。正に、信頼されるリーダーへと着実に歩を進めてきた証です。部活動でも、県秋季体育大会でラグビー部が昨年度に続き二連覇、バスケットボール女子も優勝、個人でも女子陸上競技で2年佐藤杏さんが二連覇、小林夕尋さんが第二位の快挙を成し遂げました。柔道でも、女子団体で見事第三位に入賞するなど特筆される成績でした。冬休みからは、先

週購入した真新しい受験用テキストを活用して、次年度に向けた受験学習を本格的にスタートさせることを期待しています。

1年生は、心身ともに大きく成長し、揺るぎない存在となりました。2年生との協力、3年生との絆を大切にするとともに、学区内三小学校の児童に模範を示し、東中の発展を笑顔で担ってほしいと思います。部活動では、柔道女子個人で林音芭さんと鎌田巴さんが県秋季大会で優勝するなど、保護者や地域の方々にたくましく成長している姿を見せたことは誇りであり、賞賛に値します。

最後に、1月14日に再会するときは、新年の抱負と決意を自信をもって学級や学年で披露できるように準備をできてほしいと思います。この九か月間、継続して知性を磨き、心を耕し、体を鍛えてきました。これまでの実績に敬意を表するとともに、充実した冬休みとすることを心から期待しています。

後期生徒会活動の公約、朝の雪かき活動より

11月の後期生徒総会で新執行部が明言していた生徒会活動の重点目標「ボランティア活動の推進」の第二弾を現在具現しています。それが、登校時の雪かき活動です。

学校に貢献しようとする執行部員、学年委員、生活委員をはじめ、多数の有志も参加して、全校生徒の先頭を切って黙々と雪かき活動を継続して実施しています。

3年生が高校受験に専念するために、主に2年生と1年生が協力して活動することにしていましたが、3年生の有志が多数現れて力強い限りです。生徒及び職員玄関前から体育館入口、部室棟前、駐車場を主な範囲としています。みんなで声を掛け合い、励まし合って活動する姿は力強く、微笑ましい光景です。今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、地域に貢献する活動が大きく制限されてきましたので、執行部では学校に貢献する活動を強化しようと提案しています。

毎日のように参加している3年生の伊勢谷瑛太さんの心の中には、きっと「心を耕す」、「体を鍛える」、「男鹿に貢献する」の三つの英志がしっかりと宿り、学校のために、教職員や後輩のために、そして地域や男鹿のためにという気持ちで活動しているように思えます。他者のために役立っているという自己有用感に裏付けられ、やればできるという自己効力感を高めている姿は、崇高に感じられます。



【人数がそろえば除雪車以上の仕上がり】